

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和3(2021)年6月9日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「以前、県内の自動車製造企業の社長や会長をされた方が講演で『岩手の工場の社員は、一人一人を見ると非常に能力は高く良いものを持っているのだが、それが全体の力になっていない、結実していない』と話をされていた。その方は社長として、向かうべき方向を明確にして、仕事の目的をはっきり一人一人に伝えるといった、経営では常套な手段をとったとのことだったが、その結果、近年はその工場の生産車がヨーロッパで賞を受けるなど、その企業グループの中でも、物作りの水準が非常に高いと評価を得ている。私もその工場を見学する機会があり、工場長から『工場では自分達で考えて、自分達で車を作っており、全員が『カラクリマン』と称して物作り改革に志を高めている。工場には約2,500人の従業員がいるが、2,500通りのカラクリを生み出し、個人の発想力を高めながら強い現場作りを推進している。』という話を聞いた。最近、それらを思い出しふと気が付いたが、岩手の社員一人一人は素晴らしい能力を持っているという言葉は、実は、指示されたもの、与えられた仕事に対しては真摯に取り組むといった面では非常に良い仕事をするが、一人一人が工夫を凝らした仕事をしているかという面では、おそらく、非常に物足りなさを感じていたのではないかと思った。物作りの現場や様々な組織の中で、単に指示されたものを行っているだけでは、組織や現場になかなか進歩は見られない。やはり、各々が自分の知恵を出し合いながら、1つの目標に向かっていくことで初めて、真の意味で全体の力になっていくのではないかと、昔を思い出しながら感じたわけである。警察においても、ある程度指示に従い仕事を進めることが警察組織の良さでもあるが、ただそこに留まらずにもう一步踏み込んで、更に良い工夫がないかと常に考え、相互に啓発していけるようになれば、組織は更に力強いものになり、より一体感が生まれてくるのではないかと感じている。参考にしていきたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 令和3年度6月補正予算の概要について(新型コロナウイルス感染症対策関係)

警察本部から、「新型コロナウイルス感染症対策を推進するため、県議会6月定例会に

において補正予算議案が提出される。補正予算にかかる警察本部関係予算について、総額は1,350万円余であり、内容は新型コロナウイルス感染防止対策に必要な資機材を整備するものである。必要な資機材とは、被留置者の感染防止用のマスクや、運転免許窓口、留置施設等の消毒剤、運転免許関係申請時の除菌用アルコールタオル、飲酒検知器用除菌剤、来庁者用のアルコールディスペンサー、宿直員の感染防止のための仮眠用寝具などである。なお、本補正予算は国の臨時交付金が財源であり、次年度繰り越しができないことから、令和4年度整備予定であった感染防止資機材の前倒し整備分を含んでいる。」旨の報告があった。

【刑事部議題】

○ 令和3年嘱託警察犬競技会の開催について

警察本部から、「本年6月24日、盛岡競馬場内駐車場において開催するもので、昨年は新型コロナ感染症拡大防止により開催を見合わせたことから、2年ぶりの開催となる。競技会は、嘱託警察犬等の能力向上と嘱託指導手の技術向上を図ることを目的として、出場資格は、岩手県警察が委嘱する嘱託警察犬及び指導手と、岩手県警察が登録している嘱託候補警察犬及び指導手としているが、昨年度は審査会が開催できず、嘱託・登録期間を1年延長しており、それぞれ、令和2年1月1日付けの嘱託・登録を受けたものとしている。出場予定頭数は計27頭であり、競技科目として、臭気選別作業競技、足跡追及作業競技、捜索作業競技の3つを行うほか、競技会開始前には、マスコミ等を対象としたデモンストラクションを行う。当日の天候が小雨の場合は決行するが、荒天の場合は中止する場合もある。なお、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスコミ関係者と出場者以外の見学を遠慮していただくこととしている。同様に開会式や閉会式といった式典も行わず、競技結果は追って通達する予定である。」旨の報告があった。

【交通部議題】

○ 春季(3月～5月)の交通事故分析結果について

警察本部から、「先ず、5月末現在での本年中の交通事故発生件数、死者数、傷者数はいずれも前年と比較して減少しており、死者数の減少率は68.2%となった。月別の発生件数は、3月、4月は前年比で減少し、5月は前年比1.9%の微増となったが、月別死者数について、3月から5月は過去5年間で最も死者数が少ない。3月から5月における交通安全対策については、新入学期における子供が被害を受ける交通事故の発生が懸念され、昨年4月には車線逸脱の死亡事故が相次いだことから、『運転者の安全意識を高める目立つ活動の強化』『参加・体験型安全教室の開催』を中心に、各種対策を推進した。3月、4月中の交通安全各種活動では、体験型安全教室や高齢者訪問が前年同期に比べて増加し、特に『シグナル・ストップ広報』では関係団体の参加者数が約4倍に増加するなど、取組が地域に広がり死亡事故抑止の一因となっていると考えている。各警察署の主な取組として、花巻署では危険箇所を独自の『ヒヤリマップ』として作成して配布している。また、二戸署では交通安全母の会と連携し、幼稚園児が老人クラブに手紙で交通安全を呼びかける『シルバーセーフティ・レター作戦』など、工夫を凝らした活動があった。なお、昨夜、遠野署下で自動車単独による死亡事故が発生し、原因等は調査中であるが、夏季に

かけて、暑さや疲労等に起因する交通事故の発生が懸念されることから、運転者に緊張感を促し安全意識を高揚させることを目的とした目立つ街頭活動や、幹線道路等を中心とした交通指導取締の強化等、効果的な死亡抑止対策を推進する。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「この3か月の交通事故の発生を見ると、本当に尽力して、大変良い数字を出していただいていると思った。特に、高齢者訪問の数字が大変増えているほか、二戸署の取組など高齢者に対する対策がきちんとされており、今後もその点を推進されたい。」

【その他】

警察本部から、東京2020オリンピック聖火リレーの県内における準備状況等について、口頭報告があった。

■個別会議

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

指定自動車教習所に対する「旅客自動車教習所」（普通第二種免許）の指定についての説明、決裁

○ 交通企画課

運転免許の効力の停止処分の見直しを求める審査請求に対する審理結果についての説明、決裁

○ 交通規制課

宮古市バリアフリーマスタープラン及び宮古市バリアフリー基本構想についての報告

○ 監察課

監察課業務報告

○ 総務課

東北管区内公安委員会連絡会議における提出資料(岩手県公安委員会の活動事例)の作成についての説明、決裁